

場所や時間を伝えたい!

～場所や時の表し方～



学習のポイント

- in, on, atを使って場所や時を表現できる
- for, from ～ to ～ などを使って場所や時などを表現できる

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

in, on, at を使って場所や時を表現できる

for, from ～ to ～ などを使って場所や時などを表現できる

■コミュニケーション

私たちは空間の中で生活しています。東京に住んでいる人であれば、東京という地域の中に住んでいますし、電車に乗っていれば電車という空間の中になります。渋谷駅で降りれば、渋谷駅にすることになります。このような位置関係をどう日本語や英語では表しているのでしょうか。

私は東京に住んでいる。 I live in Tokyo.
 私は電車に乗っている。 I am on the train.
 私は渋谷駅で電車を降りる。 I get off at Shibuya station.

日本語では、「に」や「で」を使ってその場所と自分との位置関係を表します。

一方、英語では、in や on や at を使って自分との位置関係を表します。in や on や at などは大変小さな語ですが、実は英語という言葉がどのように話し手や物の位置関係をとらえて、それを言葉で言い表そうとしているのかがよくわかる偉大な語なのです。

■単語や表現

in

この語のもともとの意味は、「～の中にいる」というものです。I am in the classroom. と言えば、「私は教室という空間の中にいる」ということを意味します。in は平面的な広がりの中でも使えます。I live in Tokyo. は、「私は東京（という地理的平面の中）に住んでいる」という意味になります。空間にしる平面にしる、広がりを感じられる中にいるという感覚を表します。

on

この語が表す基本的な位置関係は、他と接触していることで成り立っている位置の関係です。「テーブルの上に本がある」ということを言うのであれば、There is a book on the desk. ですが、この on があることで book が table と接触して存在していることを示しています。壁のように垂

直に立っている物とも、接触していれば **on** で表します。

「壁に写真をはる」のであれば、**I put up a picture on the wall.** です。天井のようなところであっても、表面上に接触していれば **on** で表します。「天井に大きなチョウがいた」なら、**I saw a big butterfly on the ceiling.** です。

「電車に乗っている」も、「車両の中にいる」という車両との位置関係を表現したければ、**I am in the car.** です。電車などの車両は、**car** と言います。**I am on the train.** というと「電車に乗っている、乗車している」という意味になります。

at

射撃などでの的を狙っている感覚が **at** です。一点を狙っている感じです。ですから **at** が示す位置関係もピンポイントなものです。「的を狙って撃った」ならば、**I shot at the target.** となります。

He looked at the clock on the wall. は、「壁にかかっている時計を見た」という意味ですが、時計に焦点を合わせてそれを見る感じです。

同じ場所でも、その場所を一点として見るのか、あるいは広がりのある空間として見るのかによって **at** を使うのか、**in** を使うのかが決まってきます。スマホなどの地図でその箇所を指し示すような感覚で、「渋谷駅で会おう」という場合には、**Let's meet at Shibuya station.** です。これは渋谷駅を1つの地点として考えているからです。「渋谷駅には多くの乗客がいました」であれば、**There were many passengers in Shibuya station.** です。これは渋谷駅を空間にとらえ、「その中に」という感覚で使っているからです。

前述の位置関係で使われた **in, on, at** は、次のように時間や程度などを表すときにもよく使われますが、その基本的な意味は位置関係の意味と変わりません。

in

広い時間の枠の中にいる感じです。比較的時間の幅が長い語と一緒に使います。

We had two world wars in the 20th century. (20世紀には世界大戦が2回あった)

Columbus reached the Bahama Islands in 1492.

(コロンブスは1492年にバハマ諸島に到達した)

It is hot and humid in summer. (夏は蒸し暑い)

The new school year begins in April in Japan. (日本では新学期は4月に始まります)

We study English and math in the morning. (午前中に英語と数学を勉強します)

on

曜日や日付を表すときは、**on** を使います。

We often have a party on Saturday. (土曜日にはよくパーティーをやります)

Naomi will arrive at New York on the 7th. (直美は7日にニューヨークに着く)

Americans enjoy fireworks on the 4th of July. (アメリカ人は7月4日に花火をする)

Ryo visited his friend's house on the Christmas day.

(亮はクリスマスの日友人の家を訪ねた)

※上記の7月4日など月日は、**July (the) 4th** と、月を最初に言う言い方もあります。

at

at は主として、時刻を表すときに使われます。時計の針先が文字版の数字を指し示している様子が **at** の感じをよく表しています。

I will see you **at** 10:30 tomorrow. (明日 10 時 30 分に会いましょう)

The game begins **at** noon. (試合は正午に始まる)

数字などの厳密な位置関係も **at** で示されます。

Water freezes **at** zero and boils **at** 100 degrees in centigrade.

(水は摂氏 0 度で凍り、100 度で沸騰する)

for

for には、「誰々のために」という意味があります。

Hina made a cake **for** Ryo. (日梨は亮にケーキを作ってあげた)

I don't mind opening the door **for** you. (あなたのためにドアを開けてあげましょう)

また、**for** は方向も示します。

This train is bound **for** Tokyo. (当列車は東京行きです)

We are heading **for** the city center. (私たちは町なかまで行くところです)

from ~ to ~

この **from** は「どこどこから」と始まりや出発点を表し、**to** は「どこどこへ」とゴールを示します。

This Shinkansen **came from** Shin Hakodate Hokuto.

(この新幹線は新函館北斗から来ました)

We will go **to** Nikko in September.

(9 月に日光に行きます)

I want to walk **from** Tokyo **to** Kyoto someday. (東京から京都までいつか徒歩でいきたい)

さらに、**from~ to~** は時間を表すときにも使います。

People usually work **from** 9 **to** 5.

(人々は 9 時から 5 時まで働く)

Clinton was the President **from** 1993 **to** 2001.

(クリントンは 1993 年から 2001 年まで大統領でした)

column

単語を発音してみよう ⑥

cr

舌の奥を口の上に付けて止めていた息を一気に出して **k** の音を出した直後に舌を引っ込めて **r** の音を発音します。

cry はクライと、**cross** はクロスと聞こえるように発音するとよいでしょう。

gr

基本的には **cr** の発音と同じですが、**k** の音を **g** に変えて **gram** グレアムと、**grip** グリップと発音するとよいでしょう。

